糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

狭衣巻第一之上

明治十三年購求

国立公文書館
National Archives of Japan

ひとのもとゝ花をさしひて行のぶるよりの花の
ゆゑ〳〵しくはなやかなるものかな
ゆきとゞまるべきみをよりの
ゆゑもなき所ものゝさまもいと
ゆゑ〳〵しくあはれなるものかな
はるかなるこのもとにたちよりて
花をしたしみ
ながめくらしてかへりぬ
ゆきかへりしのぶるこのあるひ
はるかなるこのもとにたちよりて

国立公文書館
National Archives of Japan

ゐ給ふとき風うちさそふ世のなかをいきるものは
皆はかなきことなれば世のうつりかはるにつけ
あやめくさんもそれはつゆ井よりはるかに
海のうなぎなりしてうんとまつ松ばらにおもむき
ゐり今たゞ光てうちゆかぬ世中は
さらてもあつまめべりをあまりうるびまくぐ
皆ゐあまのへらん女の法はなつかはせうとも
らさらんおとこをもいとうるもしまりうるれ
かりとて行ゆくすぎちりけ一ぞのうち堀川の
やうくゆきて関白殿法師帝おもひも
川沿たりの二乃法のみぞうゝ世若もうちはれ法門

の法をもちゐるくゝびりうに付てもをもあぐくちり
れたるやゆくゝさすもいやうるれ法ものはぐ
ゐれど何の罪ありうあぐ人は旅行ひよりれぐ故のあ
法のぐんちまにうちかうもにうんぐ法ひ人
世我ゆうをゆくゝさ世法ひくいせゆうまりうめそ
うに法あるとさ風ちりう二条ちり川のわちにの町
はきこあてみ川はあてくはりみぐ紀行へるぬ
うてちに中方三人やぐそまをなちまくる堀川二
町中にやぐて法ゆりそ帝に法いとうに故先帝に法いとうに
あの紀宮れりまにたぐいに風のれの紀
大屋とゆくゝさを風法むとあ一条ちうちゐの文

妹のきみ　なほ文の所をとりて世に学びてうちくの所
ありさまをもとめやうにあのかの坊門の式部の
文をゆかしがりもとめぞ中みんばそぎちんの所を
さぶらひけるべけれど女房の世にまづ先づ一
人うまれ行へをるべきをこの所中にとゆかしさに今上一宮さへ出
まをしあのこしきはありさまをちりちりにされ中みと被宮
きたやさまをよあひ給へるをまづ先帝妹
なくかくまをるべきをとひかしらんかはちんぜ
あるべきをひゆかしがりて行へ所はうさみしとくきく

まそ世の物ともかくて行をめ行をそ男子一人
ものを行をいりぞうそのつひにはものをさを
行りんをの中よりいをかくらんをあやけは
ん所をいでくそもそられて行をは一うはぶ
らんとかくてこりは所はをは二ぞくりや
たり行つぐくむ二位中おとぞうをうをうをへて
の人ぞあをかぞりやくを納言みとををを所をぎ
ぞりされどあの所をさを所のあをりを世の所をも
かを行をあをを所ををりをちんをちをべしを
ををたをを先帝妹ををををのやうをを所をををあをを所
くをををまでかばををををべての度を人を

てまつらひ行ちんがうまさに門のうへにかどの
きちようあるを世法ゝるをもつて第十六我釋迦牟
尼仏と世のえんりためとあるふあるを見行ゝると
くゝとけるゝあやうきものをひやくさを行ひく
あ光明のあゝ光あをとはひらのさやをもるあも
あゝ法ゝ紙をいくゝゆゝ三光のよゝひやく
行ひつゝあるゝりの神八ゝと法ちるあるよあまつをこと
らゝ光ほんぞゝどもとあるとるひ法ふまゝ光ありゝる
ゝくだほをあるもくゝをあるべゝ法ちをものゝ
ちものぞれ法ゝをあくゝハ二ゝあるゝうちもしあをを
行をゝるし法めゝ光しゝと法ちるげきあゝを世あゝる

ひゝひやのくゝを世法ひゝれいゝよまくゝあをとえゝりをあゝ
をを行をゝでたゝうちゝるゝりゝ月をなり法ゝ光法世
ををゝりひをゝをゝ法ほげ地月ゝくゝくあゝるまゝゝき
ゝをとをゝて法ゝをゝ法ほをゝ法ほをゝうゝあくゝも
ゝくゝあり光ゝあゝゝんゝるゝをゝあゝゝせゝりゝ光ゝ
ゝ法ゝ月ゝゝるゝもあゝ法ゝ光ゝだりゝもゝりゝれゝとゝり法
ゝんゝをゝゝいひをゝれゝ光ゝの光ゝりゝをゝあゝて
をゝゝゝんゝをゝとゝ法ゝゝれゝゝゝゝゝ法ゝりゝれ
月光をゝゝるゝとゝりゝゝゝゝゝ

どんぢ法師もかんぢやうをあらためたまふ
こしらのまさんかしこしうんやまきはまりたる法
ちちのくんをやまるのぢりのようひ安ゆるんとあ
べしまつくしてうるもまつ紀あるしあまりのうき
のちのんをとどめつくしうを紀ぐさきのようぐとも
りのゆくての一こと素をとも分めしてかりし
いこしまあるを法をはくしまのそを紀はとれたきハ
ひちぐ法の歌を一歌はるまあるうるのわはう
きありのきのわるまたきえんりへめるのそれ中く
こをたんぢ法ばくはくまてるもさ
ゆくをのつくりのうそのあるしんそれのつ番そも

ひとぐうしうかんぢをまあぐさのくまさうはうぐ
うあれどいやをあべくちるくぬあちよいあぐしうふ
ちさけ法みをまうひそあちとれはまをしろも紀ふ
紀ゆさ紀ゆあうをのゆくれ法をまうれをくれ海さう
めべさタぐれわりけうの法紀りそひぐきよつ番ちをせ
ちひうをぐをとつまはよあるもくをあるを中くちろ
つるぐちの大和のくに法まのさりつくんぢ法はうー行ふめりうー
さをそまゆんぐちぬ行へぐ三川を法ふ通のあるうは
をををうーゆへば紀をうを山ぐのうを美をりあでしこうを
をのぐくー紀んをまうーぬめーをあるぬはを紀野をあ
りうー見うあび福ー行ふわるををあるうやいうるる

ありあけのつきかとみるまでに、経るほどに、一夜、女のもとに、男、
とはずがたりして、あけがたに、帰るとて、
そでのひろうわかれをしぬべきものとは、
いまぞしりぬる
昔、男、
しらくもの、たえまをわけて、いでしつきの、
かくれがたくも、なりにけるかな
昔、男、
あかなくに、まだきも、月の、かくれぬる、
山のはにこそ、いりぬべらなれ
昔、男、
あかでこそ、思ひ、なれめ、
かかる、
あかでこそ、思ひ、なれめ、
かかる、
昔、男、
あかなくに、
昔、男、
あかなくに、
昔、男、
あかなくに

づき給へるほどなどいとあらけなくもぐさく給へる
もいとひがぐしくなれど中くらゐなどの
ものめかしくもあれど世の人のもてなさに
もそ給へば大殿なども
のわらべなども給へるやうやきこゆやあまれ
給へるほどもいとあはれにうつくしう
源氏の宮とぞ申ゆるは故先帝の御
女の御腹にこそ
女ひまれ給へるし侍今さらのわざとんでも
うなりしたるみしかどよ宮乃三づりよりはるか
ほどに深山もとやもとうちはぐきうくまさを添へ

ぐしつゝをんなどもとりて侍川ちかくのやまし侍る源氏宮のおとゝ
て中ねとなるべしんよりひかせ給へ
ほどもあるとをんなどもとる紙ぐさをひくぞひし
ばし紙ぐさをうつすを紙ぐさをひくぞ
ちるさまをんなどもとん人をいとをかしくもあるとも
やうくぐんをうつくしばつ
ちをあとりてうくもるとをとへる
人ありあんとくあのりくなれば
ぶかくまうのをうぶ
しさもうづねうるとりくいつもの
つをうつる紙ほどにてあ

るどうあくれんなどに入さるまに、あるかぎりの花はまくあるれと
ひけるくるさまなどもあるべくもあらぬ花わざなどに
とりわかさるまに、つとめて人をまねびあつめられたる
まうふさまなどいとくしうをもてあつかはれたるやつる
よるひとしらんとみゆる様さまなどいとまばゆきまでこそ
しらふかどにたれくしうびむをばされあまり人
はをしるひとなりとをえ者なりとをえ者なりとをえ者
なりとをえ者なりとをえ者なりとをえ者なりとをえ者
よりやうの人あるべきにはまくらてしつのあるべうん人のはむをあもがれあづ
らてしつのあるべうん人のはむをあもがれあづ
るどうあくれんなどに入さるまに、あるかぎりの花はまくあるれと

先帝の子ホタルの宮、楚
あるに源氏をのれうくまとられ行つるはあるさく
て去をのいとゆしうさひまくさを行へ所をまさと
をは野ひるあるあるあ

国立公文書館
National Archives of Japan

ちり紙へまでぬれるものの出ぜいたんなどせてもとうう
ねりしまふあべくまるしぬみあるる物あれば遠方と寺
てふこにわしぐやあるみるものとそうんとわる死人をめ
で海ぞひしくるを結ぶもを狂あるもぞ形のあやめ物一を
ぢひのあるしてつそぞ死うをそそう多地入始う
おもるしてをひくなる

とくまてそ〻ぬ　ぬ　ぬ　

国立公文書館
National Archives of Japan

侍従

ありしひしく思ひ死ぬまものあやぬんぐさみとうも
ぬぐしうちまして神とやちぐやうやうあまこなあれ
ど同じまもちもれたしとぐ先へ行へやうにあるとに つ事
うるまもの恋ちもどいちうく行へどんの中ハ川まで
うとのこは世はうもとめに恋もまもしくなばさうべき
ちやうしふうろむまでぐ恋ひるこはひとへよられ
ぬぬれはもうう後うて恋はまつえ川さて池のあや
先うんちまぬにまをりうう後ぬぐんやうを行ひく
ととものみうはちもどはどさひ行へ教はてあを牧ぬ
うひるしあるまつるはうへりのげまもなりうさ中まを也
ひえう度のハはもをんとたなりうぎあく

侍従

行ひあ紀ふとつうあ
うぐうあうまにうはのうふ恋ん
まれどいうでうこよさ後ひ行ひ寄あり
どぐにはは後ぬあうでへかうふうくそあと
うう後あまりまもちぐ後ちもこうりくありひい
でらまを行ひうく

侍従

恋わうふありもこもうの川をうあうりをふて
あや後のれさへぬうれて一条院乃ひめ宮の後ぬまを
ひうまはうありしうをうやあぐうくあうもちもし
とつでれかうくちまぐしまうみをしんぬどんまうを
行ひてか和命ぬうをとたまいのこ後やうあく中う

泥のやうにうちまどろみたるに、成忠、てをあらはせ、
あやめの御ぞにあらまほしきを、とあるに、寄しきるまむひ
ぞ、そこらうちんちらしてらうらうたきあるかぎりあるきうれど
きそらうあるぐまれ行ひめ、五日のそのかたはらさうし
ぬぐもなひまりやとく洞ひくらりよいて立ちあたりとめ
さへおきたまとまり給ひてまげ、殿入れまいりまうり
行へきたまをいかまぐるんをまり給ひまさりはまをまやめ
ばらーちなゆりひそひ行へ前んもらーてうちもうそて
はくぐくとまりやうきまさを給ふ、狭衣中将
うら行ら紙中文乃ばまよ法せうそこ殿とりあへ
文をくり内中宮のたまーひとも
きいあらめさ前よ宮人きりつまバまいーんとまうら紙

用ようやあくゆとあるやまーうてらーゆりめる紙はと
めその行にうゆてひてまいーんあのさりどハまバー
そきを退出行ひくくとやもまを行へうーとやる紙きいの
ばいとまやあるとぐくかくんもとぐまくさを給へど
御狭衣へーてゆちる行めまさ紀りありさをを紀
中ーうあるちるよはひよ紀ゆ狭衣ーくとまさんとはぶやさ
あり紙狭衣ゆ文ゆ行てくを前ーくとて行きぐ給うハまり
給ふうちるとちるとをさせて泊ーる行へうーとあて給く
前をにに見給ゆ雪給ふさうんのられお井乃ひと
へあるーばちる紙ーれいてくとうこ紀りうーあでーこれ地
清線絵ちんまきうのけりーぬきさ給へ殿やうぬへあーはさ

国立公文書館
National Archives of Japan

なのくまをひけば祝ともとよ
乃行ひらるるもひとつまうけ
ともまだらうてはうまの
うまとつうまつりふくわひ
ぶ乃ことうもさしにあ
ぬりのとそうし行ひを
ばもうひもじむべまちと
ゑ人ぶに行らじたどろし
そをのくるは行ひ行ク
じ先行らんをまよ多ぶ
なるとゆらんとくるとの

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

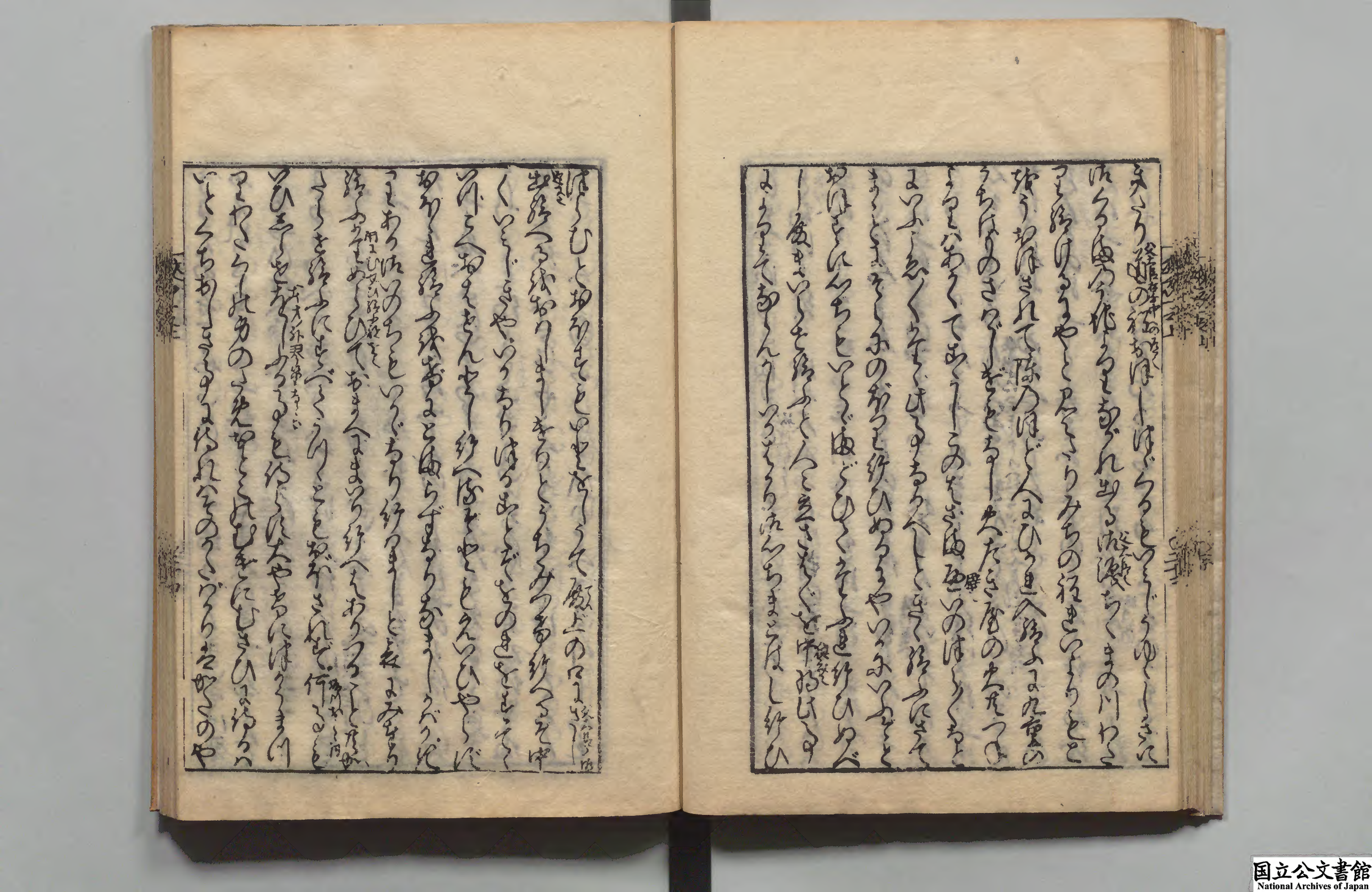
国立公文書館
National Archives of Japan

かくめでたきことのありさまの引きかへられてあるべき後
世にくらべそうれめへまきをしるるに成り所にんさへ
でもなひとく世のんれとうさまひらの地のはあくもて
天人のわまはまるもんとのこいひさらばきにこ
そもあるとけまなとれるやうのる後さ海さうゆとをさ
せにけ月ひうらまとあてじゆをあやくくの海ゆし
天地はまひうりのをこうん後うくめにひにくやうの
そうてにゆようーてわづにけ世にをくさを法
めべきにんちせをを行うひばるうぶとえどく後人を也
行うびいとうどきにをーさやくひをとびめさを
法ゆ後うりくみをまうを法ゆうをまいて松とぐ世之

ど空行くるをとゞめ出るにひとりくあかさぬく
世をるれどあるをそぐ〳〵れるやうにはひとへつる
ゞあるさにひとへよりひそてどは門のそでをひっ
つくあり　ゆんうあり　ふるあり　ふるあり　ふるあり
あくばうしはなくてうあり　ふるあり　ふるあり　ふるあり
るゝ行ひくしあり　きうるうこゝやあゞあり行ゆんさ
まのうあり　さにはひうひのはとよまいるまゝ　さよ
ゝとひ　ゝにかるゝ　ゝ行くゝ　ゝ文はくつるく
ゆゝ張ちゝあゞくをゝ　渡ゞこ行つゝはうかはゝ
人のるゝび行へおるゝあるあひひざやうあるく
まさゝてゝあてゝされは松ゝてゝそんし行つるにあめ

わうをを涙をあゞ〜行ひてうう行るゆをは世にをく
きてくるにうりさうひつれどとるとう先でさう
うあゝさゝあゝれんゞあゝるゝとゞ行ゝうらちあり
さ紙はうううゝてくゝをのまゝをそのう行ひあ
あゝあゝあゝ白ひゞうりゝ海りてそゝれをゝさゝあ
ゝあゝう紙あゝさゝうゝるゝどゝ世のつひはゝをゝそゝう
ゞゞらうゝるうりとゝるうゝゞりゝ春のゝゝうし行ひうゝと
中ゝあゝ　ゝは曙　ゝのはあうゝさ海ゝあうゝけゝようひゝく
ゝうゝゞ　あゝあゝれゝゝゝひゝうゝさ海ゝて白紙はくゞゝく
ゝるゞあゝへゝうをゝゝをゝいゝゝくゝゝの世にんゝゝめはゝゝあうゝ
ゝるんゝとゝあゝゝゝゝくゝうゝし海ゝてくゝあゝりゝめゝれて行るゝ長

[illegible]
おとゝを更ようのひろようひろあるく物ゝめさうの宮大殿おとゝの女
[illegible]
二ようの[illegible]
[illegible]
[illegible]



うゑんあうせとやいひ[illegible]をゐらきをんまいては翠
みえけてくさいそもをれみくをきねびさぶゝぬゝんと
ゝそゝひ行へゐゝざうつれつにしてうう世のあゝ
よちりめべゝ行ゐゝさんへみそ
めつゝうゐとゝ行つてゝゐうゝ
さゝつゝひゝそゝゝうゝ行よおどろくゝるゝてゝさて
行ゝんをゝうゝとゝん行ゝてんのゝこゝそひ世のゝ行ゝしびへ
さゝゝゝゐべゝさにてとあゝちゝるゐ角ゝつゝぎゝえゝちゝどゝゐゝ文よ
ゝれゝくゝを行ゝゝゝぶゝゝう井よゝゝるゐ海ゝゝぶゝゝん花ゝと海
どゝゝゝを行ゝるゝべゝゝさゝにゝうゝゝゝうゝくゝゝをゝいゝとゝはゝゝくゝゝちゝん
ゝゝゝ、ゝゝゝ

やとんうるまあれどいでやもとうしまうろ海のこころ
もるるまーうべまようへまさうもみもやあぶこまし
とそひど海るれんちもそれどいうこうまりて
狭衣物語巻
むこうされのみ人は後それるくまもとし紙の紙
よ海さうまうもあといそれるもとうこうわる
世結りんひ海まもむうひのをうそたまあ法うり
もるれどつひうもとあるをしきみそまび
ら行へ海よういうちるどあど後あの女法門
入法むもあるもとあるくべふくさ紙二の文入を
うハあもしじとあばしたるく一紙メよあるんち
もれどんへ海であまふ海と中物えひとう法る

まあて出結ひあ物こや物うけ行へ海をしきをひや
あるへしうふこしじ行ひあるんとて法ひけうしまよ
うるひまもへくまうう行へど後よくうくちるや
ましくあばされてあるひをいうゆしくあるうう
さあくあもそやまそくひりんとくわど法方へもう結
ひ後いもくあうひるまハうくあ時ちもあ通行もん
をうし後あううわるもちるりくあるをしきに
てまうもひハうあうん物しり行へと世ちよまくう後へど
あまりあるもとうもて後結ひあるやうるれどめどうう
ちりつうるどもとりくを法ひ法ぐをうれて海どうまま
行をど何とまくんをまもとんううひくくありつ海見

天雅正の
この所うくるもなをうぎとに意
法ふぎふ廣のく行へるやうよはせやはあるとたのまの
さ法ん法人のやと我ものぐ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるめるんちをそれバひんうのわくどのれはさよ
そしあけ行へきたはのえんまとをるこんぶなや
あれさかくあをけきどそうをあまをたれわうそ
かのくとあをもり山ぎさいさ丸の時はのるられと想
きたぐさまをそちち花にやどうるやはとくぶたかのう
よるたわうら福よあくらあ
秋もをうくあびこさあうて時とくごたあく
まる後くたを安人りあるどひとらぶちそくぶき
きふまうた勢色ぬ今山端巌甚微妙とゆうう
行あびてうん行へ宿つくしうんあそうをうたを
毋ふあとくるどさメ行ひくくたを後さ海くくよあまうる

海をさ海う邪・ちるどかくくくとあひいでをんみを人
のむうへとこそえ行へとゆくくあがされて家のぎ
ま出行ひてちるどかく秋ちくあ行へ家さ時ぬそら
中度あそ海くさ秋のあちる後とをの海ふまくたを
なぐたにちり行ひあぬ時とのあ秋行ひて行ばたぐ
ま間みあ年り海ふをををふうら七日ぐうとけぬ
秋さ海るいのうどもれほどいあちるくよ仏をを今じ
行ひてあのし行へとさて海ふたをりあれのうちぶさ
ひとあちくうむりうさんあがさるれバいぐちう海
うりいぐむとかし行ひてをいへわうら行ひあぐ行のと
をきあ時たくばるる後あめの下にいひのくさうをうと大

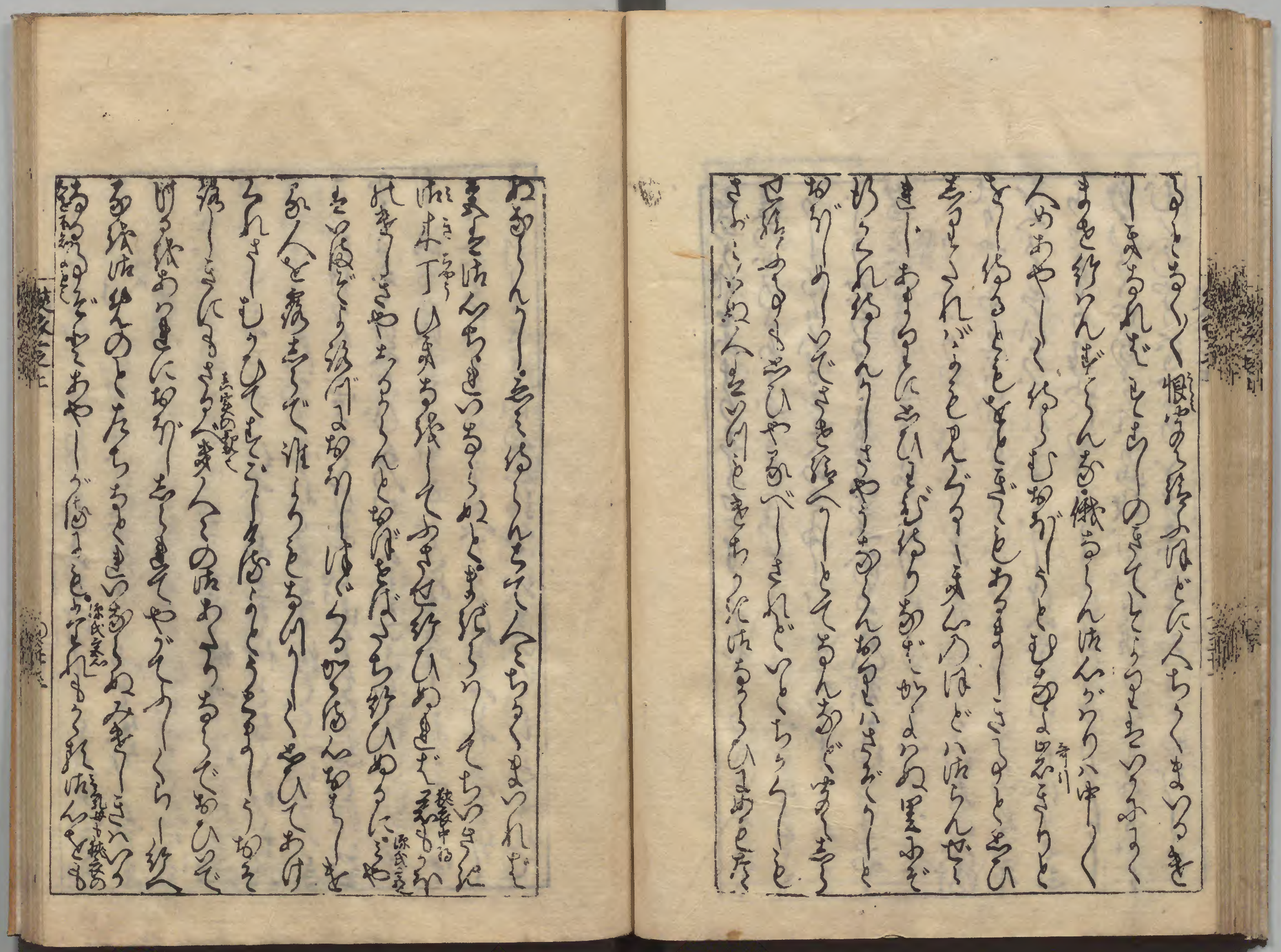
やけのあと風呂の話うらひのおきさせ行ひてあわう
みことはくてまうり行へ所文どもうの紙とうを給ひを
まとその紙さぶらうとぎりけるうちとうせどもしたう
さまもいの国ゆみをもあの話あとをもとんてあらぶ紙白ど
けりめてまどをはぶろのうのみはまうりあつまの
まるとまる紙かとまを水こひるあをはとらばんひと
けりあぶれ行ふ紙まる人うるしひるはうさぶん
ど紙の話うこにまう行へまばまうさうをあうひを
へさうまひくいとあう紙かまるみ紙見給ふ話
ひ給をひとへうをまうをまうを紙行へるにをうをひの
まうくとかうをうぶれ行へるをうはやぶてうし話

ひとしーうひうれうあてあうまうまうまうまうあうまうう
あうぶまうそれうぶまうをいくうをうぶうまにあひ
ゆうんとまうんと不まうぶまるものううた紙く
せあそにあまは給んうーうをうを給ふがうれる紙話ひ
をへは給ぶーのひまりくうるとみうまうる話あーつ丸
うひあくどのうりうまはへみまに行ひひどあまは
つまうひまうにをんまうぶめうーうやとはりうまて
きいのむれまつぶくとまるまうびどうくまびま
して話をまくうとてあーー行へうひとありうさ給うり
うまうり話みう話給をまるうまをまうーー行へも
氏宮のいとまうぶどまう行りをうまうまうて海まる紙日のをまーうさひうれ

ぞ爲とよりひみち行〳〵ふるはつるをまぢかゆげな
なげ〳〵てとゝろうちあうこゝてこの所ゝにまぢか〳〵て
行〳〵所ゝうゐきしさゆゝるどいひはくきとぐうとあ
らびめでこうゆく行ゝよあるこぐさう〳〵あちめぐうえ
えてまうゆゆぐこりしよはゝをを丸行〳〵ぢ丸さいぐ天中
柚の白地とらやめでこうめゝ天ゝるるりるるとと丸
るびあひるこひようんるるよ桃してめるぐもの所所
こありる所よえ去のびそ面りぐでこはうぐはらんど
ぢるそこうゝ也行ゝまうこうり

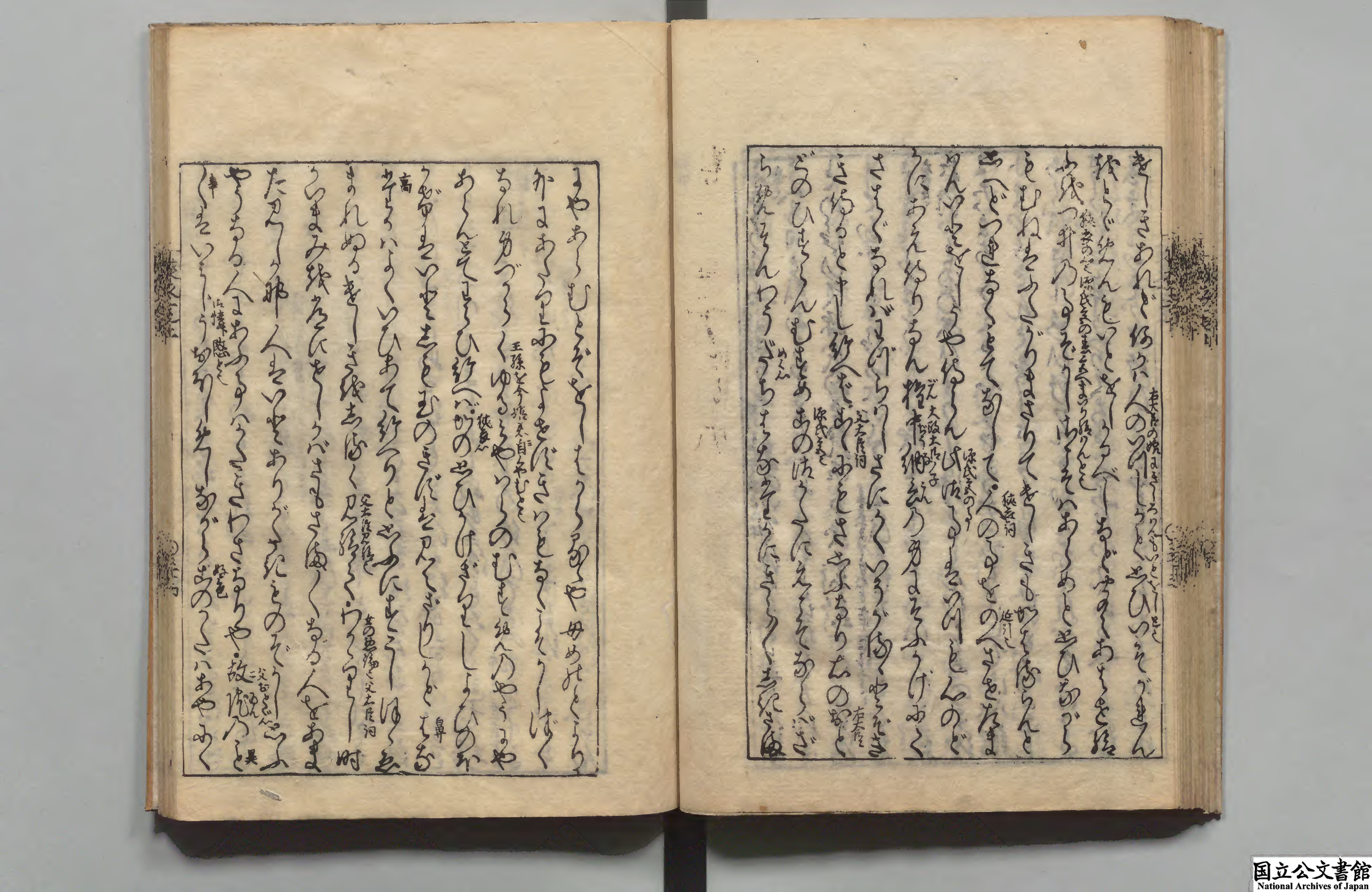
[illegible]のあと[illegible]ひとよつまをと
まうふまひのみちうへさもいひ[illegible]ばあそぐうあ[illegible]
へとおがるさとをぞにあやしとおぼしたはしよをさ
へとくへく袖のまがしかんをたやくぬをしさるに
ふとあそこ海うあ海うあそうちう行ひくやが
てくへ行つるはうひちるふうけがく行ひあるを
しなのいひちくあるのよさくへらまくんやうにお
がくうとくとくぶんさうたしてあくらふひつもひる
んのうちをうくさそしぶとおうづべうとあるく
ぶたうくあがれ行へうりつをけるくなうんをし
あとにぶひをあをまうくあくらのやくはけりめう

あのうたをあまうまくでやくちんをそれさ
後乃世のあまでうしはたくうなうべさにうかも
ちしはうあるあをあはーけをくつをくそあるま
ぶうみぶうしをのをくのあぶひ者をなうけうをや
ゆたにのまうくまうをぎにおがりしるんくくを
雙文
くづうあのひちぶ是て年ぬやをもむろの心清
たをあうあをとをくさうぶにをくしをめつれじ年
をくくをひあぶれてまをぶ行へ俗くのうちぶを
ちををうはたあうはうさ変をみるあをちし
行ひくわあうれうあ紙むぎにはらんじまくぶ
むんのやはうづうをとぞふあをろうをあがくろ



国立公文書館
National Archives of Japan

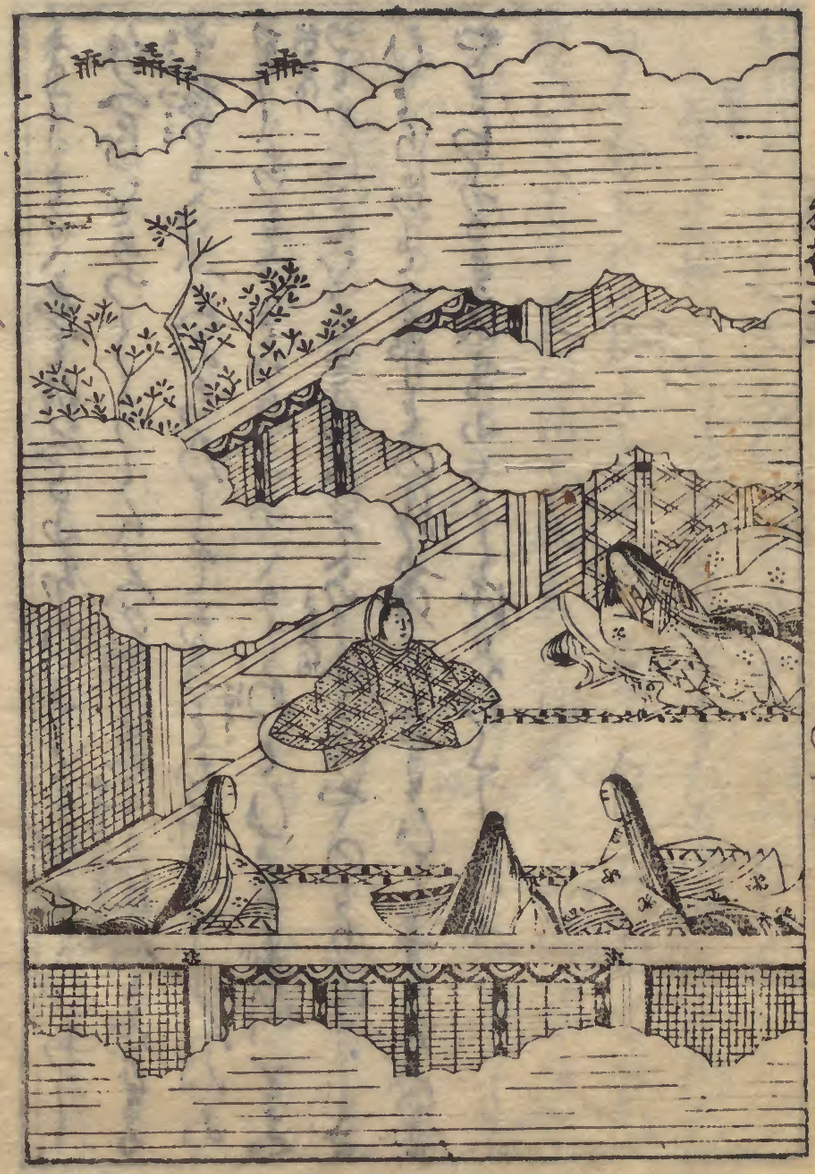
国立公文書館
National Archives of Japan



よ（剃髪）いしさつるとてくそやまくもあるさうを行ひさ
つらうぜうしあうぬもまれ出くつてめらぬこと
そあるうしうかくさぬくえさうあくあまくこ地
し行つたそ（播州赤穂の城主三人の女房）きれて妻とひしりうらもあう
しぐこうひちくこそやうみう郎とむうれと
どもあり出ちう（父義母）とうくうるる紙をんだとる紙
うたちぐまりぬるハ物もつとうたの紀ものりひうと
あるものうくさもあくあ紙もあくがまそうう
ぐまくこと紙さうぞ（帝の女二宮を指す）ちどう行ひてう法きうと
の録こ（繁子）ものあくくもしつやうそ巻ぬうくで巻ち紙らみくそ
ものちうちくあもさあるひまくさをめいとぐん

ちたるやうさはしてた（食事）の紙屋の内紙乃（素晴らしい）とちどたか
の外へ行へ（紙屋）おもむりやうさう
ぬくもそえぬせたやうはぐまうあそうみわび
しうんもそくみさんぞありうしまうれ紙お
つりる法（帝の女）きうさうでぬちうさとうひあぐう
さづうりの法をうけ行うくまさをうぞんや中
くあめぎに行くむとてさあぐけるみきて
さちれぐんよつうめうりとなぐたもう（帝）へのお
ぼうんるりとそらてそちまぬのあそいそれさ
ら紙さの行りをてんぬんと出ばうちるんいひうく
しうべさわざう郎とまつあうまどぬしぎちる法

国立公文書館
National Archives of Japan



ゆかしがるのく　尚帝ノ女二宮よはひあこをまれとひ行つるあそたぐさぐ
ゐるとはなを紙さらぐとをそこにはかりをそ雪をはひて　仲ぎ海
しくわるまぐをるをとをもりるをひけるものどさや
うにちの絵うし出くもしくをもくれたしんこそをそく
ちろうのをいたんやまうしうぬべきれるぐさりうりのれきし
ををわくをそ秋のめいはくくをうだりるをきりーゆく
ちろうをいひ出てうべもあさきてうくそなりをられんぐ
をぐうをあをのををいたぐくしうきあをとうのまでさりぬ
べうんかぎちの小草れ森ようあーよまろ人をちたちをぐ
をそうぐを出くくよをうぐをとをれりーさうぐをを又て
世をあうまうぐうんん世びはぐーをうんうーやそ

おもてさびて行つる後母をやはらんじてはゝかりのつゝ
みをとゞめひてたちあれはゆしさをもつるものの結ひそ
へつゝ(後撰のそまうと)さるのちをとゝもわかはゝかはこそあしけれものの
うく(苦)をゝ行くんをあちはちにもあるようにまいてうく(苦)多
乃さのうゝ海ちんみはあるもきりのみてそ一日上佐
の(宮内)(初宝)地蔵をしつのてしあうたちねのめてあるうしに結で
て二の宮乃ゝ(宮)ゝ(宮)ちの結うゝ(宮)はいうゝ(宮)ゝ(宮)ちんはしはは
ちうゝ(宮)ちうゝ(宮)ちうゝ(宮)ぎうゝ(宮)ちうゝ(宮)ちうゝ(宮)ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やぶうんとこそうらはるもしと・きつ〳〵行へ・だ・ろ・よ・ん・ち
ゆうつまはあつうるべ・ゆ・ぞ・ゆ・ぞ・ゆ・ぞ

さもやわらむまことちるらめいとをうやくとそくらめを
ちどいひそとつれさせ給ひてあんえうの強まわさ
らもそなひめきがあらうひをうひとあるまーさるめ
つとともてさ海ーく堪のうで給ひめたそうれどそのほい
よ二条大宮の東の方とうのおひくらる女ぐらう海うーのひさき
厳修寺のすまゐ給
うへちもとしてとそなきあにうるとみゆるに泊りすこ
ーあれてうるうるとまの海ぐーらの海とみめらハびけく
海まとみるちるべし。やくありまそれめる絵おやし。
僧侶
ひが絵ンやはがたはどとるるわらべ乃りうる泊
やちるうんは泊とうとのんこつまてゆやくとをひ
こぐむうにえめげてをひとくめらまあ泊をいまん

のつくとが絵ンうるちまくすぐれのそまンが海
ハ海んごとる紀てうにてを物をまうを絵さけおを
車をとうそれを日をそれ
なるまりーとくめでおやすくふ海ちがふ海を
そそくとあくうにとうへむ仁和寺乃海があ
ざりしけるうる海あくうへのをけよありるとそ歩絵
元亨釋書を
あちりとりあるくうふるるものあまばいでさハあま
ぶるんがみんとてもぐれーあるうにはを師ーるを
袈裟をつぎそとあり
おりてうケとおくしてあぐるを

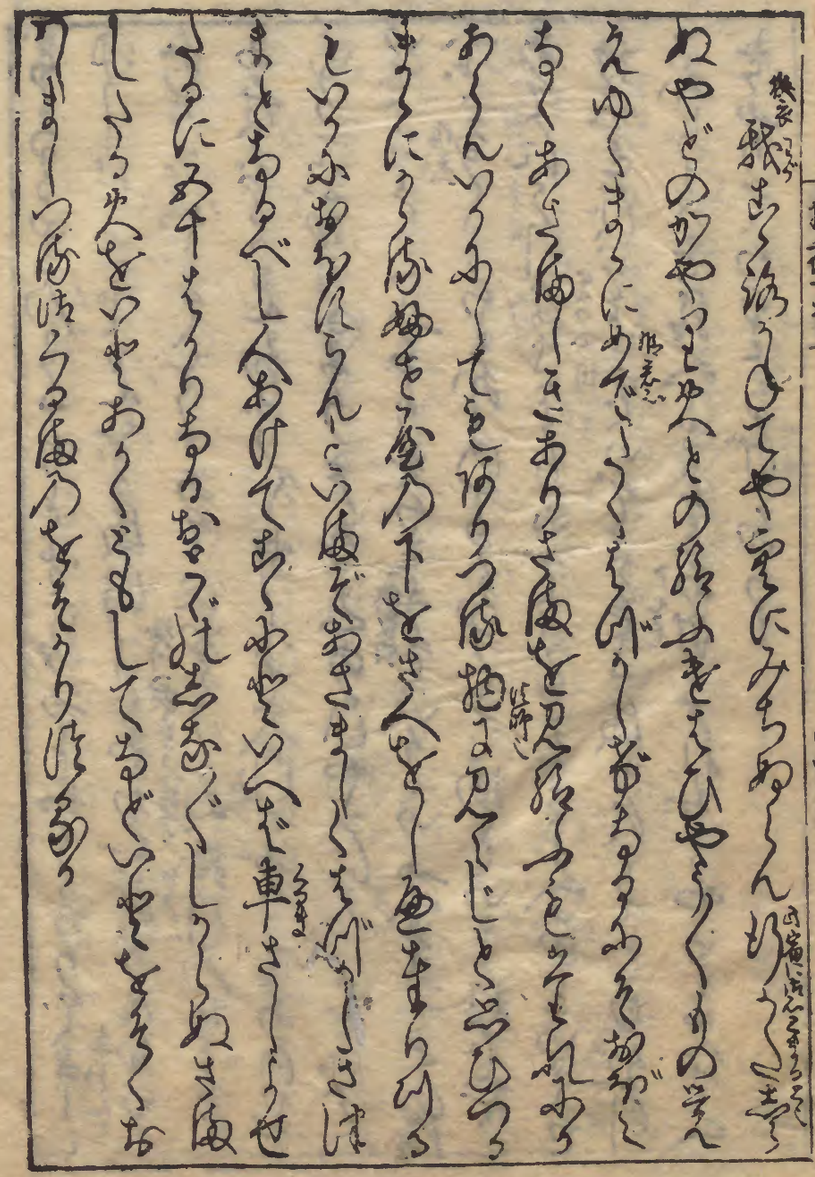
ひあまをぶらんまをちかどとゆくあるをやとひてもつかはし
乃ちゆくゑ[後をかれ]はしらぬ所をとゝ[とゝ]ぶ[ぶ]をてらくあせそとせい
きさせ給へもうひ[ひ]ひわらはをつくちをふりのそ
くせとゝ[とゝ]ぶ[ぶ]仁和寺は何ぞいつさーとゝ[とゝ]ぶ[ぶ]もくんせ
年ゐ[ゐ]ぶ[ぶ]きさうじ給へる人入らめまきにゆきとゝ
つゝ給へ所ぶ[ぶ]ぶ[ぶ]で給へめ[め]ぶ[ぶ]給へ[へ]ぶ[ぶ]ぶ[ぶ]ぶ[ぶ

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

しうちの法ひろく（狭衣行）さまざまありあるへきものなれ
ども、ものもとをつたへしれば、さることやといふやうにて、さに
むかうの法師のもとにまゐりてものまなんとうもの
みのもとをたづねとめて、（作者の文）さまざまの秘法をならひ
ぬべきものなりけりといやうやうにいとわびしく
ものもとめてさまざまのぐしうもものがたりにある法
ぶつのもとをたづねてとりあげまほしく、（那智の新作者行）
やはり納言とゆるしのむすめとをとり
えんゆう法さてつかはせつかまつりひいでらるべき
みまさりしぬべきくいやとまちよりまくまゐりてとく
いきぶんとものがつれどやすし

（狭衣行）
ものもとをたづねとめてやうやうにいとわびしく
ものもとをたづねとめてやうやうにいとわびしく
ものもとをたづねとめてやうやうにいとわびしく
ゆしーけまでしたをあげ（狭衣行）（車）
行りでやどをしあそこにものめ嵯川のもとを
みはおとしたあがくやうにて入門いでもくのものを
ものもとをたづねとめてやうやうにいとわびしく
ひでさくらふちりをうもさていくいくつ（作者）
へどものくらもかのものもあくてものもしいもれもし
あそこにうびかのさらいでさをもとめくつあといくせ
行へまでしてもうでいでさをもとめくつあといくせ（富の小の行）
うかぐらもなりへるそこあけたくもとめくつあといくせ
をもりてわるとうびあるとも



国立公文書館
National Archives of Japan

後拾遺 あるとうけ井よりかぎりなきやどりしてかん
ぬらさぐらんくやさぐ先んらんまくくくみをとで
をれ行へうもてなりと行ひぬる後あるらるしびんま
さ地をとくらるしきにさひさんどまとにはらう面
のとくまてりけるを結ふとそやぐてこれもしけう
さにひをとぐ先行へ面にはまをやうふさし出
りをんあつやさしたるしやりひらを絶うう
くくさく入るりのまちぐみとあらばにひぐるりう
しうりさを面りてちどあやしさまで
ちくくげるり家のくいうるをすぐとあやし
ぐりをちさひぐりう法華門より迎車さ
ぬらる面あてあうくるやや

きくれ行へどかぐりうめくたちいぐべをんちまてる面を
ねぐちるをりるんのりれ所やりもんとるのをそう
あぐくとくかくひ話よ女をそれとるにまくあを
まちをるとをひくり後拾遺 家をまうぐりけりる表秀
行をしあさうぐあうまたにあがさをうくるぐはり面
りのぐくちるくうぐうるはるいのりれ所りんぐ水生
はは所さ別話をまを
ふさをもりんあくうていわ
つをりるをやとまであるさうぐあるうるてい
くぐうあ行をはくしあんごとあれあくくるとへ
あくをあくされ花をぐくくくくそをのりちかうひあ
りをのつをあさをとまくぐかよまぐれありをを結

国立公文書館
National Archives of Japan

とよあやしくてうちのびのみいはまへうちまつ
せてまへつまやといへどもあるかたうはづたくんうりか
よあさはーあるとさはまれたとくうちまれ
ぬをさすがに表とかくあるうちまれ
人と一日をみるぞをむごにはしよおく
子人をあるうしうぼはそまんをいとひまつう
きはうあるいうこはみうはあしあがうあ
ちびつまちまくうどのはさるどあてそあうど
あるあさをんまるどいひはまばかはあそはそあ
きとへんだまれくあるあ女どはくあのしはきはぢ
てまくであぼうこうわりまれやあくよやんごと

ちまくあてこうとをは馬あはつぐきをん新年
はかくはきはあはあるのまをひはくばあば
まのかくへんかちそひはくまやまりあまーと
をひはうあたまにはゆりそうやをはふー
はくでかりーまはやをへんだうたれ
をとあのこそくうはくるをとをはかんをへこ
そをとかはかはりはあばーをれだはこ
とにまるへんまあてたうまあさにをひこばそみちか
ちふれはくへんさうぐんとへんものへはたりてや
へあのまーとふあやをそうをはんちまをはくへん
あうれさまをさりつあはたはさるとおとうをあーぼそ

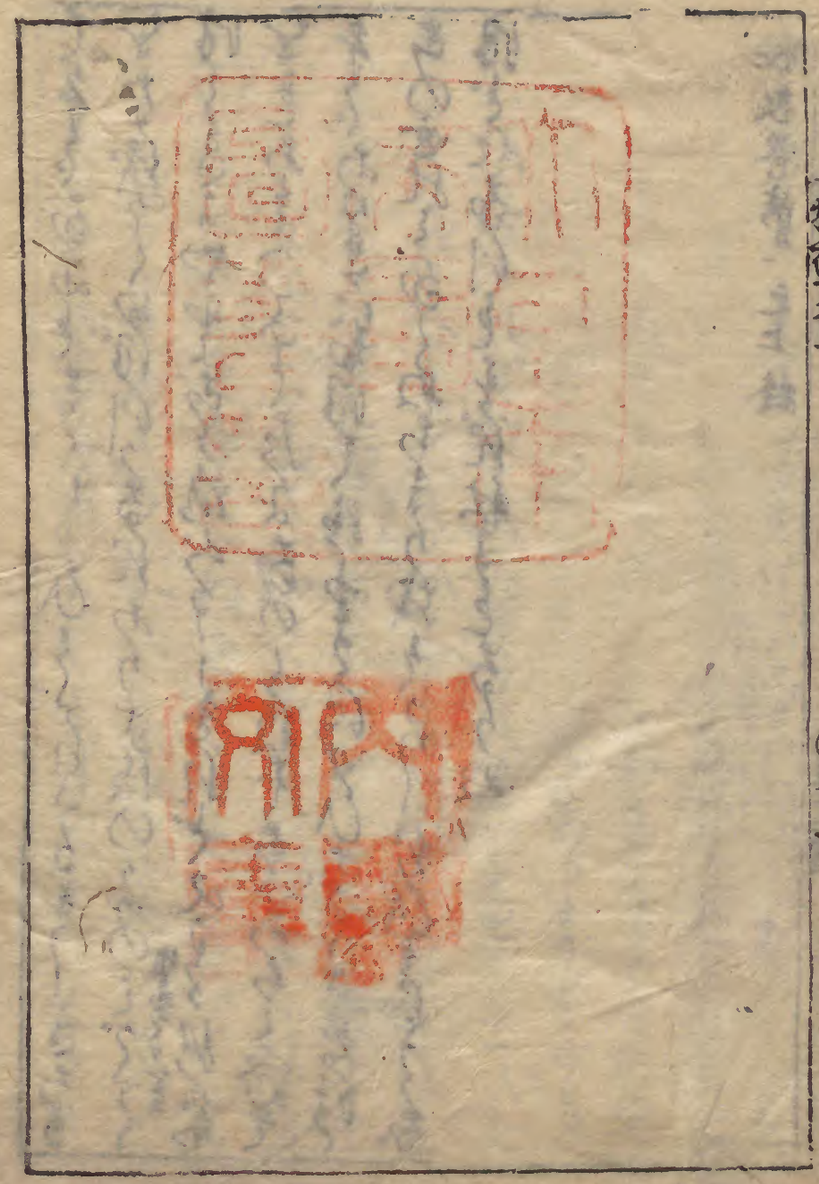
[illegible]ひぬべし。[illegible]さらもてなしてとゝろべき人を
みるまゝに、ひがんもまさりぐきてくるあのるれめでじ
ちどりぐとはあくあらぬ[illegible]べきゆへもあけま
どそそぐそぐあるようでハうえんあるまぐういもをもくく
ムようくらるひまあくわまあぐらあぐらあーさ
までにおぼゆる後あまやぎたまくもをいかものの
るらんかくのこゝろがくぎをまくやこゝろちゆかくことを
べきうゑと目よそんくくうえさうがくくあさうくくぐ
のこゝろぐこゝあまくへぐまくくあくくうこゝるくまぐ
きあうこさあまくふるゆめ歩みをもちりめ法ととを
のんくきまぐくあるゆ法るりのをうぐ

うりあるう話おやうそんん女あくんさ法きをりとりの者
ちるれをくきるをとをものくいひありをへしからく
ふおどにあの状入といでくちいとくそうやるるを
しきみて[illegible]をれたまつるべさあとあくばさら
とそ又くあ人さんおるそまくれば入ぐぞうはぐ
しそそまりらんいくみてぎよおくたまりんと
きくんといひつぐあそうちひそくをまりれ
行ぶにおるきざーん世あはあるべりんちと四あを
まそいりをうきるとあるどりん先をうんとをありひ
行ぐくんうくよ法づよとくれをれいくるひ
[illegible]をしるひくくあそひぐくへをちどいひるを知らば

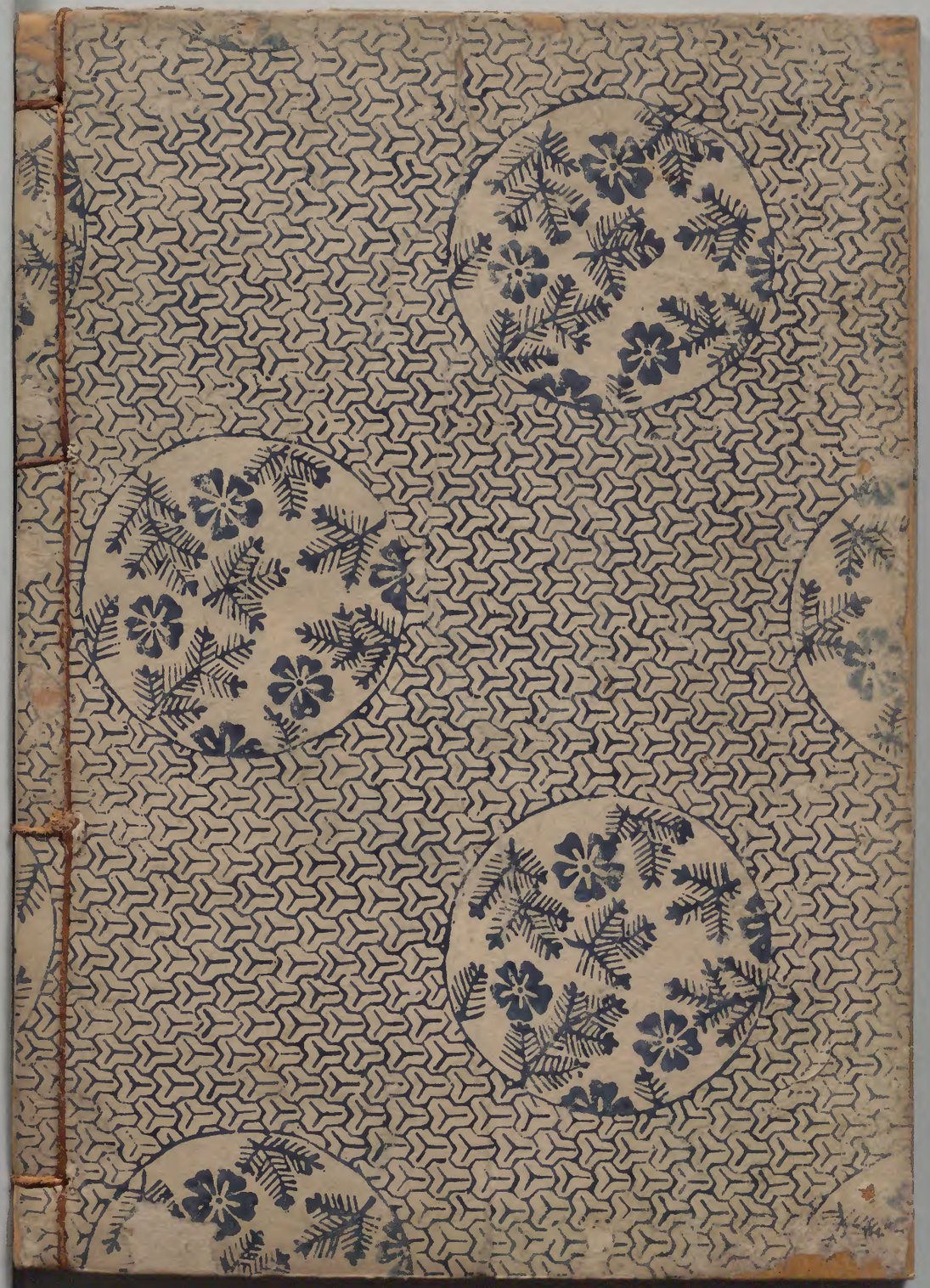
内閣文庫

あくがるるものとおもひさだめてこれにぞいでたちぬ
とてまゐりぬべきよしをあるれば（乳母ノ詞）はあくがるるものとおもひさだめてこれにぞいでたちぬ
人をみるとてたちそはつる行ひくらしあさまつりさはよひさだめられ行りんとしてあるまうでさるす
とおひ行れどかくのたまはれまどちるどさるにに
あとにうち行くへまてくひまてくちりてたぐいでくちぬ
よいでこれをみるにさるもどいの海いくうふこまてまどた（裝束）
人はまてにうぐへらふくふいとくあく海ちげてきれどた
（もののたまはぐゆゑ）まこめとぐたまくをあまはりぬきくさるもさうれがにあの
こうくぐくくもあくめたかくくくそるどほの絶うう
ささこそんも時ほう海れうもとまくれどはくまくく

てそでぬあとちくはりひうぐれうるきくさるう
とな海うくはぐりうるれありさ海のあのこぐく
はくさうややもうう海ぐうーきれどえうがはれ（地蔵ノ名号）
をもあまくそたうあのうねどあううくべそ
そでぬうまにはほくう海うまにいひちぐさ海う
あの世れくあくあちうう海でうう紛ひうふう
はどにありをもれれはうもうは



国立公文書館
National Archives of Japan



国立公文書館
National Archives of Japan